

<2023年度>

第3回理事会議案書

2023年 7月 11日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2023年度 第3回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 全構協 第一会議室

日 時： 2023 年 7 月 11 日 (火)
14:00~17:00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 報告事項

(1) 50 周年記念式典・祝賀会 予定及び運営要領について ----- [理 23-3-報 1] (別紙)

(2) 技能者 (現場溶接工、鍛冶工) 能力評価制度への参加の件 --- [理 23-3-報 2] (p3-)

(3) 委員会等活動状況報告

① 中期ビジョン検討委員会 ----- [理 23-3-報 3①] (p7)

② 人材育成委員会 ----- [理 23-3-報 3②] (p8)

③ 技術委員会 ----- [理 23-3-報 3③] (p9)

④ 運営委員会 ----- [理 23-3-報 3④] (p10-)

⑤ (仮称) 建築鉄骨技能検討 WG ----- [理 23-3-報 3⑤] (p15)

⑥ (仮称) 図面問題対応検討 WG ----- [理 23-3-報 3⑥] (p16)

(4) 特定技能外国人人材対応について ----- [理 23-3-報 4] (p17)

(5) 2023 年度共同陳情活動について ----- [理 23-3-報 5] (p18-)

(6) 賛助会員との懇談会実施について ----- [理 23-3-報 6] (p26)

(7) その他 (諸物価高騰時の対応等) ----- [理 23-3-報 7] (p27)

6. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 23-3-他 1] (p29-)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 23-3-他 2] (p34)

(3) 2023 年度主要会議日程 ----- [理 23-3-他 3] (p35)

(4) 支部報告 ----- [理 23-3-他 4] (p36-)

7. 閉会の辞

以上

報 告 事 項

【理23-3-報2】

現場鉄骨技能者（現場溶接工・鍛冶工）の能力評価方法について

一般社団法人鉄骨建設業協会、一般社団法人鉄骨現場溶接協会と当協会にて現場鉄骨技能者（現場溶接工・鍛冶工）の能力評価方法について協議を行ってきた。

協議内容

- ① 現場溶接工、鍛冶工の建設キャリアアップシステム（CCUS）における地位向上には、レベルアップシステムにおいて評価されなければならないが、現状では能力評価方法が無くレベル1としか扱われていない。
- ② 能力評価をするには独自の能力評価基準を作成し、能力評価制度推進協議会に能力評価実施団体として加入しなければならない。（別紙1参照）
- ③ 他業界と同様にレベル4の評価として登録機関技能者講習を実施するには、国交省に技能開発計画を報告し、講習事務申請をして協議会入会承認を得、試験問題などの報告をして講習事務申請受付を完了する必要がある。（別紙2参照）
- ④ 鉄建協はこれまで国交省と協議し、申請に必要な評価基準や技能開発計画を準備している段階である。（別紙3参照）
- ⑤ 本来現溶協が行うべき活動ではあるものの、事務局の能力不足、現場溶接業界への影響力及び鍛冶工を含めた活動を鑑み、鉄骨業界全体での活動として鉄建協、全構協、現溶協が協力して活動を行いたい。
- ⑥ 国交省申請など実務は鉄建協が主体として行っていく
- ⑦ 講習会開催は鉄骨技術教育センターを想定しているが別途要員が必要と考える。

活動内容

現場溶接工、鍛冶工を対象とした能力評価実施団体を設立し、講習・試験を実施する。

対象者規模：現場溶接工 1500名程度（AW検定現場溶接資格者1277名）

AW検定現場溶接資格者保有当協会構成員会社：94社

講習会・試験開催方法案	年1回2か所程度 1.5日（10時間以上の講義及び試験）
初期の団体立上げ費用	推定300～500万円程度
講習・試験運営費用	講習費収入で賄えると想定
活動に必要な業務	講習テキスト、試験問題作成 講習会実施及び試験の合否判定の委員会運営

当協会の対応方針

- ・能力評価実施団体の設立には下記内容を前提として協力する。
 - ① 現場溶接工と鍛冶工は分けて議論する
 - ② 現溶協が主体となって能力評価実施団体の運営する事
 - ③ 講習会・試験の実施の採算性に目処がつかない限り運営には参加しない

以上

能力評価制度の概要

- 建設キャリアアップシステムに登録される技能者の資格と経験をもちに、能力評価を実施。
- 能力評価実施団体が策定した能力評価基準(国土交通大臣が認定した40分野(※))に基づき、それぞれの分野の能力評価実施団体において実施。

(令和5年5月末現在 レベル4:47,832人 レベル3:14,173人 レベル2:14,656人)

制度の概要

建設キャリアアップシステムに技能者の資格と経験を登録

技能者の保有資格のほか、カードタッチ等で就業履歴を登録

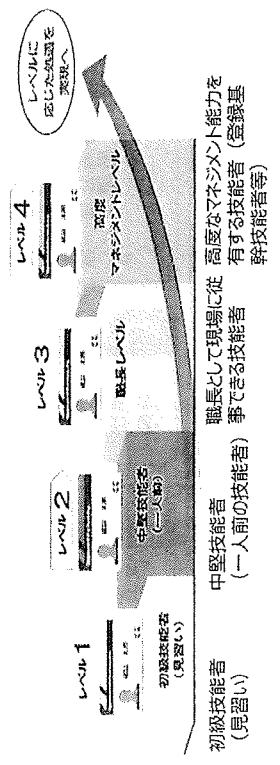
技能者情報画面：サンプル

技能者情報 (メニュー画面の「310.履歴」から「10.履歴申請書」) では、技能レベル (Lv1~Lv4の対応) のみを表示していましたが、2022年4月よりレベル判定を受けたLv2以上を対象として技能レベルに加えて分野 (電気工事技能者、板金技能者等) を併せて表示します。

技能者の基本情報		登録履歴	
氏名	山田 太郎	登録日	2022/04/01
性別	男	更新日	2023/03/15
年齢	35歳	有効期限	2024/03/31
職業	電気工事士	レベル	レベル2
資格	電気工事士	分野	電気工事
経験年数	10年	経験日数	3000日

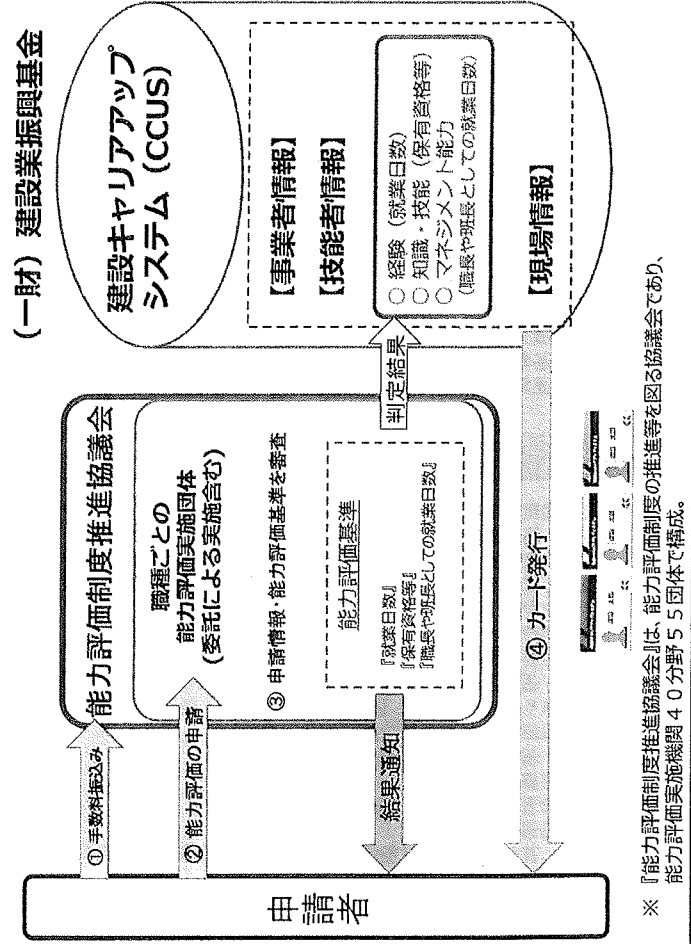
「技能レベル」欄に付いたリンクから、ポップアップが表示され、レベル判定を受けた全ての分野ごとに技能レベルが表示

技能者の技能レベルに応じた4段階のカードを発行



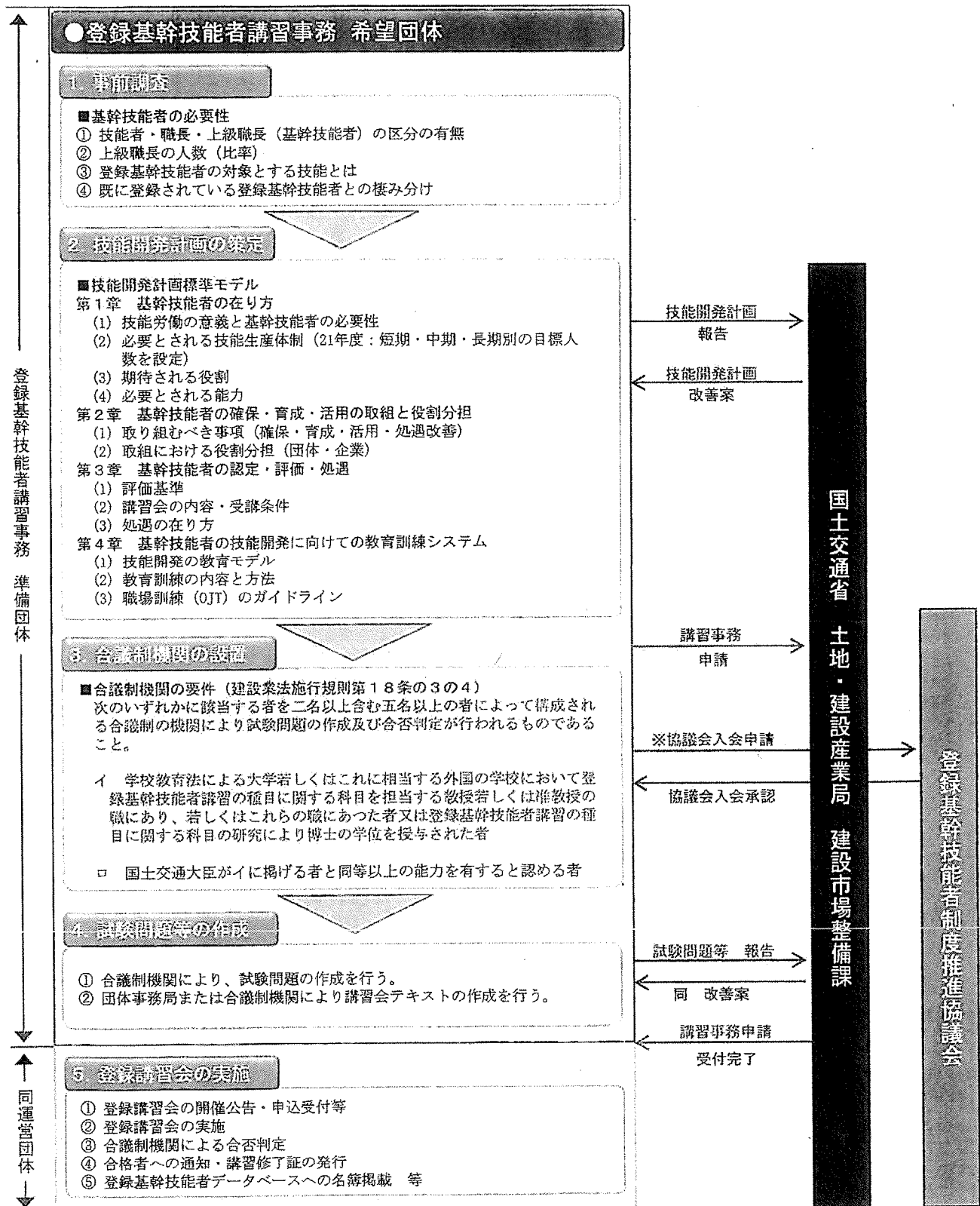
技能者の能力評価手続の概要

- ① 事前に、能力評価制度推進協議会に評価手数料を振込(4,000円)
- ② 申請者は、能力評価実施団体に能力評価の申請を行う
- ③ 能力評価実施団体にて能力評価審査を実施
- ④ ②の評価を受けて、建設業振興基金が(能力評価を反映した)カードを発行



※ (能力評価対象分野)：電気工事、橋梁、道路、コンクリート圧送、防水施工、トンネル、建設機、左官、機械施工、海上起重、PC、鉄筋打設、型枠、配管、とび、切断穿孔、内装仕上、外装仕上、カサ・CW、工カサ、建築板金、外装仕上、物干、保冷断熱、通気断熱、遮熱工、タイル張り、道路舗装、路面標示、消防施設、消防施設、消火器具、ALC、土工、リフト新設、発破、破砕、発破、建築測量、圧入、さび

■登録基幹技能者講習の実施までのロードマップ



※ 基幹技能者制度推進協議会への正式な入会は、登録基幹技能者講習事務の運営団体成立後であり、準備団体時においては、推進協議会への入会予定者（準備団体）の位置付けである。

【鉄骨工】 技能者の能力評価基準（案）

別紙3

レベル4		レベル3		レベル2		レベル1	
上級職長	職長	中堅技能者	初級技能者				
<p>高度なマネジメント能力を有する技能者</p> <p>実務経験10年以上 かつ 職長経験累計3年以上</p> <p>■レベル3の取得しているべき資格</p> <p>■登録鉄骨基幹技能者講習 修了</p> <p>■鉄骨工事管理責任者 (日本鋼構造協会)</p>	<p>職長として現場に従事できる技能者</p> <p>5～7年以上の経験年数 もしくは 班長経験3年以上</p> <p>■レベル2の取得しているべき資格</p> <p>■職長・安全衛生責任者教育 (安衛法)</p> <p>□特定化学物質作業主任技能講習 (安衛法)</p> <p>□フォークリフト運転者技能講習 1t以上 (安衛法)</p> <p>□低圧電気取扱に係る特別教育 (安衛法)</p>	<p>3年以上の経験年数</p> <p>■フルハーネス型安全帯使用特別教育 (安衛法)</p> <p>■足場組立て等特別教育 (安衛法)</p> <p>■ガス溶接技能講習 (安衛法)</p> <p>■アーク溶接特別教育 (安衛法)</p> <p>■研削といし取替作業者特別教育 (安衛法)</p> <p>■高所作業車 (10m未満 or 10m以上) (安衛法)</p>	<p>経験年数3年未満</p> <p>建設キャリアアップシステム に技能者登録されており且つ レベル2からレベル4までの 判定を受けていない技能者</p>				
<p>鉄骨 かじ 工</p>		<p>◎建築高力ボルト接合管理技術者 (日本鋼構造協会)</p> <p>◎溶融亜鉛めっき高力ボルト接合施工技能者 (溶融亜鉛めっき高力ボルト技術協会)</p> <p>◎有機溶剤作業主任者技能講習 (安衛法)</p>		<p>◎玉掛け技能講習 (安衛法)</p> <p>◎建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者 (安衛法)</p> <p>◎高所作業車 (10m以上) (安衛法)</p>		<p>(備考)</p> <p>■：必ず保有</p> <p>[□：何れか1つ以上を保有</p> <p>[◎：何れか2つ以上を保有</p>	
		<p>■レベル2の取得しているべき資格</p> <p>■AW検定溶接技能者 更新2回以上の経歴</p>		<p>■JIS溶接技能者 (日本溶接協会)</p> <p>■AW検定溶接技能者 (AW検定協会)</p>		<p>【レベル2・3について】</p> <p>『鉄骨かじ工』か『溶接工』 のいずれかのルートを設定 で資格要件を満たす事。</p>	

【理23-3-報3①】

〈 2022～2023年度 〉

第7回 中期ビジョン検討委員会 議事報告

1. 日 時 2023年6月21日(水) 15:00～17:00
2. 場 所 鉄鋼会館：鉄鋼連盟会議室及び全構協第2会議室
3. 出席者 大島委員長(副会長)、
佐藤委員(理事；北海道支部長)、三浦委員(理事；東北支部長 Web参加)、
登尾委員(理事；四国支部長)、岩永委員(理事；九州支部長)
欠席：出雲委員(理事；近畿支部長)
(鉄鋼連盟) 国内調査グループ 堀尾 様、三輪 様、上向井 様
(事務局) 新村

4. 議事次第

- 1) 委員長挨拶
- 2) 鉄鋼連盟との意見交換
- 3) 第6回委員会議事録の確認
- 4) 他業界を含めた経済予測や将来像の調査について
- 5) その他

5. 配布資料

- 1) 第6回委員会議事録(案)・・・・・・・・・・・・・資料 No. 1
参考資料
・我が国金属産業の持続的発展に向けた調査事業・・・・・・・・・・・・・資料 No. 2
・2018_鉄鋼連盟長期温暖化対策ビジョン・・・・・・・・・・・・・資料 No. 3

6. 議事要旨

- 1) 委員長挨拶
大島委員長より中期ビジョン検討委員会の趣旨を説明し、情報提供の協力を感謝する旨を鉄連メンバーに伝えた。
- 2) 鉄鋼連盟との意見交換
委員会からのヒアリング要望に対し、鉄連国内調査グループより需要動向について当日配布資料に基づき説明を頂いた。
- 3) 第6回委員会議事録の確認
事務局より資料 No. 1 を報告し、了解された。
- 4) 他業界を含めた経済予測や将来像の調査について
今後のヒアリング先として日建連や鉄鋼メーカーに将来予測について説明を事務局より依頼してみる。国交省・経産省については総務部が別件でのつながりがあるので同様の依頼を試みることにする。

以 上

【理23-3-報3②】

人づくり研修WG (第1回 Web併用) 議事録

1. 日時・場所 2023年6月26日(月) 13:55～17:10 於：全構協(第1会議室)

2. 出席者及びメンバー紹介 (11名)

(順不同、敬称略)

氏名	6/26(月)	委員会等	会社	
大竹 良明	実出席	全構協副会長 人材育成委員会委員長	群馬県	冬木工業(株)
寺田 健信	実出席	当WGリーダー/北陸支部長 次世代経営研修WGリーダー	石川県	(株)寺田鉄工建設
柏原 正明	実出席	当WGサブリーダー/中部支部長 教育体系検討WGリーダー	静岡県	(株)柏原鐵工所
竹原 慎雅	Web出席	運営委員会 教育体系検討WG	北海道	(株)竹原鉄工所
金本 貴範	実出席	全青会事務局 次世代経営研修WG	東京都	(株)日伸鉄工建設
稲垣 法信	実出席	三重県 副理事長	三重県	(株)稲垣鉄工
谷本 匡朗	実出席	技術委員会 次世代経営研修WG	香川県	四国建築鉄工(株)
小貴・平井・滝本・大原	実出席	全構協		

3. 議事内容

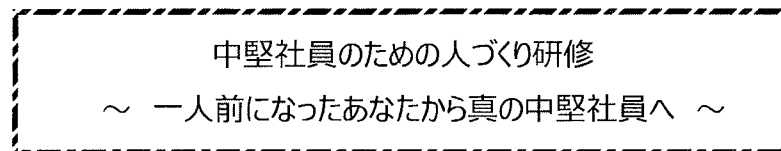
- (1) 大竹委員長 挨拶
- (2) 寺田リーダー 挨拶
- (3) 人づくり研修の発足経緯等(認識共有)

1) WG発足の経緯

2023.3.7 三役会報告内容

2) WG名称、研修名称報告

WG名称は『人づくり研修WG』



3) 概ねのスケジュール案共有 ⇒ 2024年度後半からの研修開始を想定

(4) 研修目的、ターゲット層(研修対象者)、(研修の)主な内容に関するフリーディスカッション

4. 申し合わせ事項等

(1) 課題(宿題)

- ・ 本日に行ったディスカッションを更に有意義なものとする為、各自が研修目的、ターゲット層、主な内容について、箇条書きにて5～6点を書き出し、事務局で全体を取り纏める。
- ・ 書式は事務局が準備し(6/27に書式送信済)、納期は7/14(金)とする。

(2) 次回(第2回)の人づくり研修WGは、8/3(木)にWeb併用で開催(案内済)

以上

【理23-3-報3③】

〈 2022～2023 年度 〉

第 6 回 技術委員会 議事報告

1. 日 時 2023年6月22日(木) 9:00～11:00
2. 場 所 Web会議(事務局:全構協第一会議室)
3. 出席者 佐藤委員長、萩澤副委員長、西山副委員長、
船山、今泉、佐野、山本、谷本 各委員
欠席:和田、古賀 委員
(事務局) 新村、瓜生

4. 議事次第

資料No.

- 1) 委員長挨拶
- 2) 前回議事録の確認
第5回技術委員会議事録案・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 1
- 3) 溶接施工WGの活動について
入熱・パス間温度記録の提供依頼・・・・・・・・ No. 2
- 4) 品質不具合事例の調査について
鉄骨製作工程におけるトラブルの事例調査・・・・・・・・ No. 3
- 5) 技術者・技能者資格一覧について
技術委員会委員の試用について
- 6) その他
次回以降の開催について
・第7回 2023年8月23日(水) 13:30～ WEB開催(状況により対面)
・第8回 2023年9月29日(金) 13:30～ 対面開催
- 7) 委員長講評

5. 議事内容

- ・全構協実施型「入熱・パス間温度の管理方法」については試験場所・試験体製作について検討中
- ・現状の溶接施工記録及び製作工程の品質不具合事例について技術委員会メンバー内でヒアリング中
- ・新しく技術者・技能者資格一覧表を管理し易いEXCELデータで製作した。利用方法の説明書も併せてホームページ会員コーナーにて公開予定

以上

会員企業 2022年度の業績等調査アンケート

企業担当者様へのお願い

- ※ 本調査は(一社)全国鐵構工業協会に所属するファブリケーターの2022年度の業績等(2023年3月期までの決算状況等)を把握することを目的としております。
- ※ 本調査の回答内容は秘密を厳守し、他の目的に使用することは致しませんので、ありのままの状況をご回答ください。
- ※ 調査票は、2023年8月4日(金)までに、別紙参照の上で入力願います。

問い合わせ [事務関係] ○○組合 TEL:
 [内容について] (一社)全国鐵構工業協会事務局 TEL:03-3667-6501
 総務部/滝本

<鉄骨事業対象> ※所属組合名、グレードも必ずご記入ください

所属組合名				
貴社名			ご担当者名	
所在地				
グレード	<input type="checkbox"/> S	<input type="checkbox"/> H	<input type="checkbox"/> M	<input type="checkbox"/> J <input type="checkbox"/> 未認定

※該当グレードにチェックを入れてください

従業員数について、回答ください

※雇用区分は正社員・再雇用(契約社員・パートタイマー等は含めず)

ただし、出産・育児等で一時的にパートタイマー契約になっている方は正社員に含めてください。

従業員数(全体)	名		
うち、男性	名	女性	名
上記のうち、60歳以上(男女)	名		
上記のうち、60歳未満の女性	名		
上記のうち、障がい者雇用	名		
外国人技能実習生	名		
それ以外での外国人雇用	名		

※上記各項目で、該当する従業員が居ない(ゼロ)場合は、0と記入してください

設問 1. 女性従業員が担当している業務について、お尋ねします。
 上記の女性正社員の担当業務の内訳を記入してください。

※鉄骨事業に従事されている方を対象とし、
職責上兼務されている場合(例/②と③)には主たる業務を1つ選択し、回答ください。
尚、⑦には①～⑥を回答した従業員のうち、
管理職(課長職以上)に就いておられる方の人数を回答ください。

①	一般事務関係	名
②	営業関係	名
③	設計、図面、積算担当	名
④	製造管理、検査関係	名
⑤	工場作業	名
⑥	その他職種	名
⑦	上記(①～⑥)の中で管理職に就いている	名

設問 2. 貴社の完成売上トン数の対前年比(2021年度比)をお答えください ※鉄骨事業対象

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① -30%超 | <input type="checkbox"/> ⑧ +0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ② -25%超～-30% | <input type="checkbox"/> ⑨ +5%超～+10% |
| <input type="checkbox"/> ③ -20%超～-25% | <input type="checkbox"/> ⑩ +10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ④ -15%超～-20% | <input type="checkbox"/> ⑪ +15%超～+20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤ -10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑫ +20%超～+25% |
| <input type="checkbox"/> ⑥ -5%超～-10% | <input type="checkbox"/> ⑬ +25%超～+30% |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑭ +30%超 |

設問 3. 貴社の売上完成売上額の対前年比(2021年度比)をお答えください ※鉄骨事業対象

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① -30%超 | <input type="checkbox"/> ⑧ +0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ② -25%超～-30% | <input type="checkbox"/> ⑨ +5%超～+10% |
| <input type="checkbox"/> ③ -20%超～-25% | <input type="checkbox"/> ⑩ +10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ④ -15%超～-20% | <input type="checkbox"/> ⑪ +15%超～+20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤ -10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑫ +20%超～+25% |
| <input type="checkbox"/> ⑥ -5%超～-10% | <input type="checkbox"/> ⑬ +25%超～+30% |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑭ +30%超 |

設問 4. 貴社の直近の決算状況について、お尋ねします ※鉄骨事業対象

4-(1) 決算書の損益計算書(P/L)の売上総利益(粗利益)をお答えください

※売上総利益(粗利益) = 売上高 - 製造原価

(製造原価/材料費+労務費+外注費+製造経費)

- ① 黒字
 ② 収支均衡
 ③ 赤字

設問 4. 貴社の直近の決算状況について、お尋ねします ※鉄骨事業対象

4-(2) 決算書の損益計算書(P/L)の営業利益をお答えください

※営業利益 = 売上総利益(粗利益) - 販売費および一般管理費

(一般管理費/企画、総務、人事、経理等の費用)

- ① 黒字
- ② 収支均衡
- ③ 赤字

設問 5. 設問 4.[4-(1)、4-(2)]で「③赤字」と回答された方にお尋ねします

5-(1) 設問 4-(1)で赤字の場合、現状の鉄骨受注金額に対し、採算ベース(粗利益ベース)にはあといくら位の受注価格(トン当たり)の上積みが必要ですか？

- ① 0.1万円～0.5万円
- ② 0.5万円～1万円
- ③ 1万円超～1.5万円
- ④ 1.5万円～2万円
- ⑤ 2万円超

設問 5. 設問 4.で「③赤字」と回答された方にお尋ねします

5-(2) 設問 4-(2)で赤字の場合、現状の鉄骨受注金額に対し、採算ベース(営業利益ベース)にはあといくら位の受注価格(トン当たり)の上積みが必要ですか？

- ① 0.1万円～0.5万円
- ② 0.5万円～1万円
- ③ 1万円超～1.5万円
- ④ 1.5万円～2万円
- ⑤ 2万円超

設問 5. 設問 4.で「③赤字」と回答された方にお尋ねします

5-(2) 上記設問[5-(1)、5-(2)]のような、受注価格の悪化が要因であること以外に赤字要因があれば回答ください。

設問 6. 貴社の決算状況の対前年比(2021年度比)についてお尋ねします

6-(1) 売上総利益(粗利益)の対前年比(2021年度比)をお答えください

- ① -20%超
- ② -15%超～-20%
- ③ -10%超～-15%
- ④ -5%超～-10%
- ⑤ 0%～-5%
- ⑥ +0%超～+5%
- ⑦ +5%超～+10%
- ⑧ +10%超～+15%
- ⑨ +15%超～+20%
- ⑩ +20%超

設問 6. 貴社の決算状況の対前年比(2021年度比)についてお尋ねします

6-(2) 営業利益の対前年比(2021年度比)をお答えください

- ① -20%超
- ② -15%超～-20%
- ③ -10%超～-15%
- ④ -5%超～-10%
- ⑤ 0%～-5%
- ⑥ +0%超～+5%
- ⑦ +5%超～+10%
- ⑧ +10%超～+15%
- ⑨ +15%超～+20%
- ⑩ +20%超

設問 7. 貴社の経営上、現在課題となっていることは次のどれですか？（複数回答可）

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① 受注量が少ない | <input type="checkbox"/> ⑥ 資金繰り難 |
| <input type="checkbox"/> ② 受注単価が低い | <input type="checkbox"/> ⑦ 従業員の採用難 |
| <input type="checkbox"/> ③ 客先の与信問題 | <input type="checkbox"/> ⑧ 従業員の人材難 |
| <input type="checkbox"/> ④ 鋼材他価格の上昇 | <input type="checkbox"/> ⑨ 追加変更代金の回収難 |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 鋼材の入手難 | <input type="checkbox"/> ⑩ 函面決定の遅延 |
| <input type="checkbox"/> ⑪ その他（下枠内に具体的に記入してください） | |

設問 8. 受注物件の追加について（追加／変更工事）伺います。

追加分、変更分についても受注先へ請求ができていますか？

- ① できている（請求している）
- ② できていない（請求できない／請求できていない）

設問 9. 従業員の時間外労働（残業時間及び休日労働）はひと月あたり、平均何時間ですか。

- ① 20 時間未満
- ② 20 時間以上～45 時間未満
- ③ 45 時間以上

設問 10. 特に時間外労働が多い従業員は、下記のいずれかに当てはまりますか。

- ① 月 45 時間以上残業している社員はいない。
- ② 月 45 時間以上残業している社員がいる。
- ③ 月 60 時間以上残業している社員がいる。

設問 11. 貴社の年間休日は、下記のどれに該当しますか。（1 日／8 時間勤務を基準）

- ① 年間 100 日未満
- ② 年間 100 日以上～110 日未満
- ③ 年間 110 日以上～120 日未満
- ④ 年間 120 日以上

設問 12. 従業員の年間有給休暇の平均取得日数（実態）は、下記のどれに該当しますか。

- ① 年間 5 日未満
- ② 年間 5 日以上～10 日未満
- ③ 年間 11 日以上～15 日未満
- ④ 年間 16 日以上～20 日未満
- ⑤ 年間 20 日以上

設問 13. 冒頭に記入いただいた、従業員に関する質問です

採用・人材確保において貴社で取り組んでいる、もしくは取り組んだ事例があれば教えてください。

(例／当社では子育てに係る法定を上回る、短時間勤務制度を設けています。)

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました

以上

【理23-3-報3⑤】

2022～2023年度

第3回「建築鉄骨技能」検討WG報告

1. 日時 2023年6月15日（木） 14:00～17:00

2. 場所 全構協；第2会議室

3. 出席者 秋山リーダー、齋藤、谷脇各委員
栗原アドバイザー
（事務局）新村、佐藤

4. 議事要旨

これまでの議論に基づき、建築鉄骨特有の技能として「鉄骨組立」に焦点を当て、技能の確認方法として実技試験の試験内容を案として検討。

- ・柱梁接合部とBHの「仮組み」を想定。
- ・試験時間、審査基準についても検討。
- ・試験実施における課題（準備、実施方法、審査者など）を検討中。

<資格の難易度設定について>

- ・どの程度の人数を対象とするかによって難易度の想定が異なる。
- また、外国人の受入れの為の試験となると、簡略化の必要がある。

<必要とされる知識について>

- ・鉄骨製作管理技術者2級の内容から関連する項目を抜粋する程度を想定。

<次回開催について>

今回は、8月22日（火）14:00～17:00とした。

以上

図面問題対応検討WGメンバー

(敬称略)

	氏名	支部	都道府県	(役職)
リーダー	秋山 順一	関東支部	新潟県	関東支部長

	氏名	支部	都道府県	(役職)
メンバー	渡辺 勝	東北支部	福島県	理事長
	柏原 正明	中部支部	静岡県	中部支部長
	藤田 英輝	近畿支部	奈良県	副理事長
	川野 大成	九州支部	大分県	理事長

2023年6月27日

経済産業省

製造産業局 金属課 御中

一般社団法人 全国鐵構工業協会

会長 永井毅

特定技能外国人制度における分野追加に関する要望書

国内の鉄構（鉄骨）業界の従業者数は、2500社程度、その従業員数は、周辺関連分野を含め約6～7万人規模と推定されます。建設分野に係る業界であり、他分野等に比べ労働環境が厳しいとの認識を持たれていることから、長年にわたって新規の採用で必要な人材を確保できない状態が続いています。溶接ロボットの導入やデジタル技術を活用した省力化などの生産性向上の取組みを実施するとともに、女性向けの採用施策の実施等、国内人材確保にも積極的に取り組んでおりますが、なお必要な人材を十分に確保することが困難な状況です。

当業界の人材不足は、安心・安全な住環境の確保、社会インフラの整備等の面からみても、大きなリスク要因を生じさせる恐れがあることから、安定的な人材確保は、当業界のみならず、社会全体にとって喫緊かつ重要な課題であると認識しています。

そこで、国内人材を確保することが困難な状況にある産業分野において、一定の専門性・技能を有する外国人を受け入れることを目的とする特定技能外国人制度において、特定産業分野に「鉄骨製造業」を追加頂くことを強く要望致します。

以上

【理23-3-報5】

2023年度 陳情活動について

業界の状況・実態について、設計会社・ゼネコン・高炉メーカー 各社にご理解、ご協力を頂くべく、(一社)鉄骨建設業協会と共同で、陳情活動を実施した。内容は下記の通りです。

記

1. 実施日程

- ・2023年7月19日(水)～8月22日(金) 【東京地区】
- ・2023年7月19日(月)～8月8日(火) 【大阪地区】

2. 陳情先

[設計事務所] 日本設計、三菱地所設計、日建東京、久米設計、
NTT ファシリティー、日建大阪、安井大阪

[ゼネコン] 大林(東京、大阪)、大成(東京)、竹中(東京、大阪)、
清水(東京、大阪)、鹿島(東京、大阪)、戸田(東京)
前田建設、東急建設、西松建設、奥村(大阪)、
銭高組(大阪)

[ゼネコン団体] (なし)

[高炉メーカー] 日本製鉄、JFE スチール、神戸製鋼所

[他団体] 日本建築構造技術者協会(JSCA)

3. 陳情メンバー

[全構協] 永井会長、大島副会長、大竹副会長、
事務局(小貫専務他4名)

[鉄建協] 深澤会長 以下 理事、運営委員、事務局

4. 陳情項目(内容) 別紙

以上

〇〇建設株式会社
代表取締役社長
〇〇 〇〇様

令和5年〇月〇日

一般社団法人 鉄骨建設業協会
会 長 深 沢 隆
一般社団法人 全国鉄構工業協会
会 長 永 井 毅
[公 印 省 略]

要 望 書

平素は、鉄構業界に対しまして、格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日本経済は、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたこと等もあり、今後、本格的な回復に向かうことが期待される中、鉄骨需要についても、2024年以降のピークに向けて大型再開発や物流倉庫等の需要を中心とした繁忙期に向かうと予想されます。そのため、我々鉄構業界は、常態化している図面遅れによる工期・工程のズレや鋼材費をはじめ副資材費、人件費、及び輸送費等の高騰や採算性の厳しさ等の諸課題への適切な対応が求められているほか、建設工事の品質管理及び施工管理の一翼を担う立場として、これらの徹底に万全を期すための適正価格での受・発注を目指していく必要があります。

昨年度は、諸課題のうち特に鋼材費の精算を中心にお願いをし、ご理解を頂いているものと認識しておりますが、今年度については、鉄骨工事の円滑な遂行と経営環境の改善強化を図るため、下記事項について特段の善処方お願いする次第です。

記

1. 今後の繁忙期に向けた取り組み
2. 鉄骨製作工程表の確実な合意確認
3. 働き方改革への適切な対応

以上

1. 今後の繁忙期に向けた取り組み

- (1) 本体鉄骨の先行製作を進められるよう構造体を早期に固める取組みをお願いします。
- (2) 本体鉄骨と独立付帯を切り離した製作者の選定及び発注をお願いします。
- (3) 先行製作を考慮した金額の決定をお願いします。本体鉄骨・附帯の同施工による横持ち費用・置き場費用の削減のため、附帯項目について本体鉄骨に遅れることなく決定・指示を頂けるようお願いいたします。
- (4) 附帯工事の業者を早期に決めていただくようお願いいたします。また附帯工事について不確定な図面、多回数の出図など図面の乱発はやめていただき、契約図と着手図は同一のものとするようお願いいたします。

2. 鉄骨製作工程表の確実な合意確認

- (1) 工事開始前にファブ間で打合せを行い、打合せ結果を反映した工程表をゼネコン責任者に提出します。
- (2) 提出した工程表についての確認・返却等により、当初工程についてのゼネコン責任者との合意形成をお願いします。
- (3) 工程に変更が生じる場合には、協議の上、当初の工程表を修正して、担当者に提出しますのでご確認をお願いします。

3. 働き方改革への適切な対応

- (1) 工場（製造業）では、既に時間外労働の上限規制を定めた改正労働基準法が改正施行されています。時間外労働及び休日労働の要因となる保留・変更等が生じないようご協力をお願いします。突発的な工事については対応できない場合がありますのでご理解をお願いします。
- (2) 建設現場（建設業）においても2024年4月以降、働き方改革に基づく諸規定が適用されます。4週8閉所を早期に実現し、月当たり45時間（平均2時間/日）以上の法定時間外の作業が発生する場合は協議の上、別途精算をお願いします。超過を回避するためには、交代要員を確保してのローテーションが必要となります。対応が不可能な場合が発生することもありますので、ご理解をお願いします。
- (3) 製品輸送についても2024年4月以降、働き方改革に基づく諸規定が適用されます。拘束時間の制限（短縮）等もあり、さらに車両（運転手）の不足が見込まれます。積載率を確保した平均的な車両台数での搬入計画の作成をお願いします。

工場・現場が抱える諸問題について

その他下記の諸問題について、工事現場への水平展開をお願いします。

①鉄骨製作工程表の確実な合意確認

- (1) 従来より、鉄骨製作工程表の合意確認・厳守のための同工程表への責任者の捺印をお願いしていますが、諸般の事情により捺印されない例が多く発生しています。鉄骨の計画的供給のため、捺印を何卒よろしくお願いします。
- (2) やむを得ず捺印が受領できない場合は、キックオフミーティングの議事録等、書面での合意形成にご協力をお願いします。

②輸送に関する諸問題

- (1) 荷卸し時間が延長すると翌日の搬入が不可能となり、代車手配が必要になる場合や、2日にわたる輸送計画が必要になる場合が発生します。ファブとして工事場所に対応した「輸送タイムバー」を現場、工場ごとに作成して提出しますので、輸送計画への反映、時間通り・予定通りの順番での荷卸をお願いします。
- (2) 規制が厳しくなり、都内では、路上での待機は困難ですが、建設現場の近在に車両待機場所がないのが通例です。遠方での待機の場合、搬入の呼び出しから現場到着までに時間が掛かることにご理解をお願いします。
- (3) 月曜日の搬入等、車両の拘束時間が延びる搬入は輸送費のアップにつながるので、避けていただくようお願いします。

③ミルシートへの物件名等記載に関する質疑の省略

- (1) 鋼板の有効活用を促進し環境負荷低減を図るため、鋼番に基づくトレサビリティの確保を提示した上で、ミルシートへの物件名等の記載を省略しますので、ご理解をお願いします。尚、キックオフミーティング時のミルシート原本への工事名やファブ名の記載に関する質疑については省略させていただきます。
- (2) プロジェクト材(プロジェクトで手配した鋼板)における未加工材については、所有者であるシヤ会社またはファブは他工事への転活用を進めますので、ミルシートに記載事項があり転活用ができない場合は、精算をお願いすることになりますので、ご理解をお願いします。

④スパン調整作業及びそれに伴うスプライス交換、リーマ作業、ルートギャップの過大、過小の処置

- (1) 近年はスパン調整作業については鉄骨鍛冶工が合番で実施する事が主流となっています。この費用を先行契約するか、常備精算とする事にご理解をお願いします。
- (2) 現場の建入れ精度確保のために発生する、スプライス交換、リーマ作業、ルー

トギャップの過小、過大に伴うガウジング手間や施工数量増については、追加契約もしくは常備精算とする事にご理解をお願いします。

⑤重層下請けへの理解（鹿島建設限定）

重層下請け構造の改善目標については『技能者労務を提供する会社が2次までの施工体制』（ファブから見て2次まで）とする事が適正な施工体制である事についてご理解をお願いします。

令和5年 ○月 ○日

〇〇設計事務所
代表取締役社長
〇〇 〇〇 様

一般社団法人 鉄骨建設業協会
会 長 深 沢 隆
一般社団法人 全国鉄構工業協会
会 長 永 井 毅
[公 印 省 略]

要 望 書

平素は、鉄構業界に対しまして、格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日本経済は、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたこと等もあり、今後、本格的な回復に向かうことが期待される中、鉄骨需要についても、2024年以降のピークに向けて大型再開発や物流倉庫等の需要を中心とした繁忙期に向かうと予想されます。そのため、我々鉄構業界は、常態化している図面遅れによる工期・工程のズレや鋼材費をはじめ副資材費、人件費、及び輸送費等の高騰や採算性の厳しさ等の諸課題への適切な対応が求められているほか、建設工事の品質管理及び施工管理の一翼を担う立場として、これらの徹底に万全を期すための適正価格での受・発注を目指していく必要があります。

今年度については、鉄骨工事の円滑な遂行と経営環境の改善強化を図るため、下記事項について特段の善処方をお願いする次第です。

記

1. 今後の繁忙期に向けた取り組み
2. ミルシートへの物件名等記載に関する質疑の省略

以上

1. 今後の繁忙期に向けた取り組み

- (1) 本体鉄骨の先行製作を進められるよう構造体を早期に固める取り組みをお願いします。
- (2) 本体鉄骨・附帯の同時施工による横持ち費用・置き場費用の削減のため、附帯項目について本体鉄骨に遅れることなく確認を頂けるようお願いいたします。

2. ミルシートへの物件名等記載に関する質疑の省略

- (1) 鋼板の有効活用を促進し環境負荷低減を図るため、鋼番に基づくトレサビリティの確保を提示した上で、ミルシートへの物件名等の記載を省略しますので、ご理解をお願いします。尚、キックオフミーティング時のミルシート原本への工事名やファブ名の記載に関する質疑については省略させていただきます。
- (2) プロジェクト材(プロジェクトで手配した鋼板)における未加工材については、所有者であるシヤ会社またはファブは他工事への転活用を進めますので、ミルシートに記載事項があり転活用ができない場合は、精算をお願いすることになりますので、ご理解をお願いします。

令和5年 ○月 ○日

〇〇製鉄株式会社
代表取締役社長
〇〇 〇〇 様

一般社団法人 鉄骨建設業協会
会 長 深 沢 隆
一般社団法人 全国鐵構工業協会
会 長 永 井 毅
[公 印 省 略]

平素は、鉄構業界に対しまして、格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日本経済は、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたこと等もあり、今後、本格的な回復に向かうことが期待される中、鉄骨需要についても、2024年以降のピークに向けて大型再開発や物流倉庫等の需要を中心とした繁忙期に向かうと予想されます。そのため、我々鉄構業界は、常態化している図面遅れによる工期・工程のズレや鋼材費をはじめ副資材費、人件費、及び輸送費等の高騰や採算性の厳しさ等の諸課題への適切な対応が求められているほか、建設工事の品質管理及び施工管理の一翼を担う立場として、これらの徹底に万全を期すための適正価格での受・発注を目指していく必要があります。

今年度につきましては、引き続き鉄骨工事の円滑な遂行と経営環境の改善強化を図るため、「鋼材の安定供給、納期」について意見交換をお願いする次第です。

以上

賛助会員各位

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井毅
【公印省略】

懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当協会の活動に多大なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
当協会では賛助会員の皆様との懇談会につきまして、昨年と同様、本年も以下の通り開催を計画しており、皆様との将来に向けてのより強固な関係を構築するための一助とさせていただきますと考えております。
つきましては、下記についてご承知置きをいただきますようお願い申し上げます。
尚、詳細につきましては後日連絡をさせていただきますので、現時点での出欠連絡は不要です。

敬具

記

1. 日時 2023年9月28日(木) 15時から17時(予定)
2. 場所 鉄鋼会館 801号室
東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
Tel 03-3669-4850
3. 出席者 賛助会員様：各社ご担当者の方(1名)に出席をいただきたく思います。
当協会：永井会長、大島副会長、大竹副会長、各理事
4. 内容 (予定)
 - ・ファブ業界の動向、各地域の状況
 - ・当協会の事業予定、各委員会活動等の報告
 - ・賛助会員の皆様からの要望事項、連携活動、その他
5. その他 (1) 後日、懇談会開催の詳細と出欠確認の連絡をさせていただきます。
(2) 当協会ではクールビズを実施しております。ノーネクタイ等、軽装でお越しく下さい。
(3) 懇談会終了後(17時以降)、賛助会員の皆様との懇親会を予定しておりますので、合わせてご参加をお願い申し上げます。

<問合せ先>

全構協事務局 担当：大原 (TEL)03-3667-6501 / (Fax)03-3667-6960
(E-mail) somu@jsfa.or.jp

以上

サンプル

(一社) 全国鐵構工業協会
会長 永井毅
〇〇県鐵構工業組合
理事長 〇〇 〇〇

諸物価等高騰時の対応について (お願い)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の不透明な経済社会情勢の影響により、建設資材、消耗品等は勿論、ガス・電気等のインフラコスト等を含め、価格高騰の状況が続いております。これらのコストについては、発注時のコストと実際に調達・製作する時のコストの間で大きな乖離が発生しておりますが、この実態を十分に認識していない取引先からは、従来通りのコストを前提とした価格での受注を求められる状況が頻出しております。

鉄骨製造業界にとって、昨今の諸物価の高騰は自助努力で対応可能な範囲を大きく超えるものであり、一部の工事においては、採算を著しく悪化させる状況となっております。

つきましては、鉄骨業界の窮状をご斟酌いただき、下記の事項についてご対応くださいますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

敬具

— 記 —

○お願いしたい事項

1.

〈要請文書の作成と使用について〉

① 要請文書（事項）は、要請の申入れ先・申入れ内容をご勘案の上、各地域の状況に応じて、作成して下さい。

2.

② 作成した文書については、全構協に事前にご提出いただき、確認の上使用していただきます様、お願いいたします。

3. その他適切な取引関係の確保に向けた施策のご検討をお願いいたします。

以上

その他の定例報告事項

【理23-3-他1】

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和5年3月31日現在 (令和4年度増減数)		24	46	2,172
令和5年5月23日 第1回理事会	3月31日	(0)	(9)	2,172
令和5年6月16日 第2回理事会	6月9日	9	3	2,178
令和5年7月11日 第3回理事会	7月6日	1	3	2,176
累 計		10	6	2,176

《グレード別内訳》

S : 8 H : 287 M : 818 R : 576 J : 39 未 : 448 合計 : 2,176

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和5年7月6日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数	
		登録 社数	取消社数									合 計
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他				
平成18年度合計	49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739		
平成19年度合計	51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711		
平成20年度合計	49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652		
平成21年度合計	37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538		
平成22年度合計	23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395		
平成23年度合計	14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260		
平成24年度合計	20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200		
平成25年度合計	13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171		
平成26年度合計	26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158		
平成27年度合計	36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169		
平成28年度合計	36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172		
平成29年度合計	56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201		
平成30年度合計	34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208		
令和元年度合計	25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199		
令和2年度合計	32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197		
令和3年度合計	27	1	10	7	1	0	11	30	-3	2,194		
令和4年度合計	24	1	14	9	3	0	19	46	-22	2,172		
令和5年度	第2回 (6月9日)	9	0	2	1	0	0	3	6	2,178		
	第3回 (7月6日)	1	0	0	0	0	3	3	-2	2,176		
	第4回 (月日)											
	第5回 (月日)											
	第6回 (月日)											
	第7回 (月日)											
	第8回 (月日)											
	年度未処理											
	5年度計	10	0	2	1	0	0	3	6	4	2,176	
累 計	1,097	501	699	547	130	79	1,186	3,142	-2,045	2,176		

1. 転・廃業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	転業 1社	転業 0社	転業 2社	転業 4社	転業 0社
	廃業 9社	廃業 12社	廃業 8社	廃業 10社	廃業 2社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
令和3年度	0	2	5	6	0	17	30
令和4年度	0	1	5	7	2	31	46
令和5年度	0	0	1	2	0	3	6

構成員登録社数・増減一覽表

(R5. 6. 10~R5. 7. 6)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回		
北海道	北海道	75			0	75		
	東北	青森	36			0	36	
		岩手	32			0	32	
		宮城	41			0	41	
		秋田	23			0	23	
		山形	27			0	27	
		福島	62			0	62	
		関東	茨城	60			0	60
			栃木	49	1		1	50
			群馬	64			0	64
埼玉	52				0	52		
千葉	57				0	57		
東京	47				0	47		
神奈川	44				0	44		
北陸	新潟	85			0	85		
	山梨	31			0	31		
	長野	65			0	65		
	富山	39			0	39		
	石川	33			0	33		
	福井	43			0	43		
	岐阜	73			0	73		
中部	静岡	92			0	92		
	愛知	127		2	-2	125		
	三重	61			0	61		
	合計	2,178	1	3	-2	2,176		

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	31			0	31
	京都	47			0	47
	大阪	107	1		-1	106
	兵庫	75			0	75
	奈良	36			0	36
	和歌山	35			0	35
	鳥取	15			0	15
	島根	22			0	22
中国	岡山	35			0	35
	広島	80			0	80
	山口	37			0	37
	徳島	25			0	25
	香川	44			0	44
	愛媛	41			0	41
	高知	22			0	22
四国	福岡	51			0	51
	佐賀	25			0	25
	長崎	18			0	18
	熊本	25			0	25
	大分	20			0	20
九州	宮崎	25			0	25
	鹿児島	29			0	29
	沖縄	15			0	15
	合計	2,178	1	3	-2	2,176

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2023年7月1日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度計		122,466	107.3	45,580	113.3	1,966	104.7	4,656,300	113.1
20(令和2年度)	4月	11,250	106.8	4,031	104.0	294	245.0	417,800	106.1
	5月	9,704	93.1	3,414	88.1	301	278.7	356,450	90.7
	6月	11,045	101.8	4,247	103.0	130	74.3	431,200	102.4
	7月	11,248	105.5	4,349	117.5	246	225.7	447,200	119.1
	8月	10,418	109.2	3,501	108.6	127	171.6	356,450	109.3
	9月	9,682	97.3	3,216	93.8	74	41.3	325,300	92.5
	10月	9,902	81.9	3,452	65.0	214	97.3	355,900	65.7
	11月	9,568	94.5	3,456	99.8	160	113.5	353,600	100.0
	12月	8,967	84.2	3,186	74.5	143	39.3	325,750	73.1
	1月	9,278	107.6	2,990	86.0	403	277.9	319,150	89.9
	2月	9,016	97.8	3,432	103.6	58	25.2	346,100	100.9
	3月	8,598	87.8	2,672	76.1	225	222.8	278,450	78.1
年度計		118,676	96.9	41,946	92.0	2,375	120.8	4,313,350	92.6
20(令和3年度)	4月	10,298	91.5	3,912	97.0	158	53.7	399,100	95.5
	5月	8,994	92.7	2,874	84.2	150	49.8	294,900	82.7
	6月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	7月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
年度計		19,292	92.1	6,786	91.1	308	51.8	694,000	89.6

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡ × 100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡ × 50kg

2023(令和5)年度 主要会議日程表

2023.5.17 現在

- ↓ 夏期・年末年始休日
- ◻ ↓ 土日・祝日
- ◇ ↓ 振替休日
- ◇ ↓ 休日出勤

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
	9	10	11	12	13	14	15	8	9	10	11	12	13	14	7	8	9	10	11	12
	16	17	18	19	20	21	22	15	16	17	18	19	20	21	14	15	16	17	18	19
	23	24	25	26	27	28	29	22	23	24	25	26	27	28	21	22	23	24	25	26
	30							29	30	31					28	29	30	31		
5	7	8	9	10	11	12	13	10	11	12	13	14	15	16	4	5	6	7	8	9
	14	15	16	17	18	19	20	17	18	19	20	21	22	23	11	12	13	14	15	16
	21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23
	28	29	30	31				27	28	29	30	31			25	26	27	28	29	30
6	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14
	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	16	17	18	19	20	21
	25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28
								31							30					

開催年月日	三役会	理事会	委員会	その他	備考
2023年(令和5年)					
4月7日(金)	12:00				※全国事務局長会議
5月16日(火)	9:00			16:30 懇親会	12:00 全鉄評取締役会
5月23日(火)	10:30	14:00 ※			※決算・事業報告・総会招集
6月16日(金)	9:30	11:30	15:00 ※	17:00 懇親会	14:00 全鉄評株主総会
7月4日(日)	15:00				
7月11日(火)	10:30	14:00			
7月12日(水)				14:00 創立50周年記念式典	15:30 祝賀会
8月24日(木)	14:00			11:00 技術審議会	
8月25日(金)					
9月12日(火)	14:00			15:00 賛助会員との懇親会	
9月28日(木)	9:30	11:30		12:00 全鉄評取締役会	
10月18日(水)	14:30				
11月7日(火)	14:00				
11月17日(金)	10:30	14:00 ※			※移動理事会
12月14日(木)					12:00 全鉄評取締役会
12月15日(金)	14:00			18:00 事務局職員との懇親会	
2024年(令和6年)					
1月19日(金)	9:30	12:00	15:00 ※	16:30 新年賀詞交歓会	※全国理事長会
2月13日(火)	14:00				
2月20日(火)	15:00				
2月21日(水)		9:00		13:00 青年部会との意見交換会	16:00 青年部会との懇親会
3月12日(火)	14:30				12:00 全鉄評取締役会
3月19日(火)	10:30	14:00			

2024(令和6)年度予定
2024年4月12日(金) 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
2024年5月14日(火) 三役会(14:30) 参考:全鉄評取締役会(12:00)
2024年5月21日(火) 三役会(10:30) 理事会(14:00)
2024年6月14日(金) 三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00)
参考:全鉄評株主総会(14:00)

その他

関連団体
【青年部会】
総会・会長会議: 2023年5月13日(土) 大阪

【理23-3-他4】

< 北海道支部 > 状況報告書

2023年(令和4年) 6月分

(A)

提出日 令和5年7月5日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・6日(火) 三役会・役員会	・5日(月)～6(火) 建築鉄骨製品検査技術者 学科講習会 ・8日(木)、13日(火)、28日(水) 工場審査(3工場)
函館		
室苦小樽		
旭川	・12日(月) 営業会議	
北見	・20日(火) 委員会(例会)	
帯広	・14日(水) 道東3地区合同会議	
釧路		

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	5 ~ 9	2 ~ 5	2 ~ 5	90 ~ 110			○			
函館	4	3 ~ 4	1 ~ 3	60 ~ 100			○			
室苦小樽	5 ~ 8	1 ~ 3	1 ~ 2	90 ~ 110		○				
旭川	12	5 ~ 6	/	80 ~ 100			○			
北見	/	2 ~ 7	/	90 ~ 100		○				
帯広	2 ~ 13	1 ~ 5	1	100			○			
釧路	7	3 ~ 10	/	80		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積み・工場稼働率は、各グレードとも上昇傾向にある。見積りの傾向は前月とほぼ変わらず「少ない」が「同じ」を若干上回っている。相変わらず新規の中小物件の見積りが少ないとのコメントが多い中で、大型物件として、札幌市の再開発案件に加えて、千歳市の半導体関連への期待が高まっている。 共同積算:1-6月 44,489t 平年比61% 前年比95%
函館	・先月と変わらず、稼働率、山積み共に、他支部からの製作協力要請等もあり高めで推移している。見積りについては一部で多いとの報告もあるが、平均すると少ない。価格については大きく変わらなし。
室苦小樽	・少しずつ稼働状況が改善されてきており、残業も増えている。概算も含め来年の春から夏以降に向けての案件が出てきている。大型物件に関する引合いもきており、暗い要素が減ってきている。
旭川	・Mグレードの見通しについては、現在の稼働率は80~100%程度で、秋頃までの見通しはあるが、先の仕事に不安がある。Hグレードは、現在図面の決まりが悪く稼働率が落ちている。但し、来年の話は具体的になってきている。
北見	・全体的に物件は少なめで、更に規模の小さいものが多く、忙しい割に加工量は少な目で推移している。 ・建築坪単価が高値で推移しているために、過去の予算組み物件等の着工の延期が発生、また入札不調物件等の加工工程の調整に苦慮している。
帯広	・全体的に手持ち工事量に大きな変化はないが、各社により温度差がある。価格の変動は聞こえてこない。
釧路	・各社、工場稼働率は高くなっており、山積みも秋までは高い状況。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2023年（令和5年）6月分

(A)

提出日 令和5年7月3日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○6/8 積算業務担当者会議 ○6/24 青年部通常総会／親睦ゴルフコンペ ○6/29 前期性能評価（1社）	○6/1～2 建築鉄骨製品検査技術者学科講習会 （仙台）
岩手県	○6/13 R5 前期性能評価傾向対策説明会 ○6/15 県南支部会 ○6/21 盛岡支部会・総会・懇親会 ○6/22 技術・品質サポート（1社）	○6/6 東北鉄構工業連合会 6月期役員会、 令和5年度通常総会、永井会長との 意見交換会、懇親会（仙台）
宮城県	○6/20 営業担当者会議	○6/14 東北鉄構工業連合会積算業務委員会 （仙台）
秋田県	○6/7,13,16 技術・品質サポート（各1社） ○6/23 営業担当者会議 ○6/28 定量的マスクフィットテスト講習会	○6/14～15 建築鉄骨超音波検査技術者学科講習会 （仙台）
山形県	○6/15 (仮)情報広場検討委員会、営業実務者会議、 超音波探傷技術研究会 探傷器点検 ○6/19 青年部総会 ○6/10～11 構造物鉄工2級実技試験対策講習会 ○6/24～25 構造物鉄工1級実技試験対策講習会	○6/27～7/1 NDI-UT レベル1超音波探傷基礎講座 （多賀城）
福島県	○6/13,15,23,26 技術・品質サポート制度（各1社） ○6/17 郡山支部総会 ○6/22 第1回営業責任者会議 ○6/29 青年部役員会 ○6/30 福島支部総会	

(B)

都道府県	①手持ち工事量（ヵ月）			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造 (H+H)	S造 (コラムH)	SRC造
青森県	7～28	3～11	1～5	70 ～ 115			○			
岩手県	4～11	2～6	1～2	70 ～ 120			○			
宮城県	6～17	3～7	1～3	70 ～ 120			○			
秋田県	7～10	3～5	0.5～4	70 ～ 120			○			
山形県	3～12	1～12	1～4	90 ～ 120			○			
福島県	4～10	3～14	1～9	20 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	工事量・稼働率・価格は、前月比と大きな変化はなく推移したが、県内の見積物件が非常に少ない。価格の調整や計画変更等で思うように進展せず、中小規模の仕事量に不安感が広がっている状況。
岩手県	工場稼働率、手持ち工事量、工場加工費いずれも先々月から横ばいで大きな変化はないが、見積物件数が急落。中小はおろか県外大型物件の見積もほぼ無い状況で、先行きの不透明感が急速に拡大。
宮城県	材料価格や受注動向に大きな変化は見られない。数か月先まで手持ち工事量はあれど目の稼働率は低いFabが多い。小規模だが官公庁案件の設計見積が出始めており、秋口以降の正式発注に期待する。
秋田県	手持ち工事量、稼働率に大きな変動はないが、見積もり物件数はやや増加傾向にある。材料については高止まりしている。電気代や消耗品はある程度しかもらえず加工費に食い込んでいる工場が多い。
山形県	今月の報告物件数は県内が相変わらず少なく、県外の方が多かった。全体的にも厳しく、苦慮する状況が続いている。
福島県	見積依頼も多少出ています。地元中小物件は元請の受注競争や差値もあり、値上げしにくい話もでています。設計・元請も人数が少ないのかチェックや承認がどの物件も遅延しているにもかかわらず納期が変わらないといった話が聞かれます。工場稼働や利益に影響を及ぼすので、これらの対策は、より必要になると考えられます。

＜ 関東支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年) 6月分

(A)

提出日 令和5年7月4日

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況	
東京都	10日 東構塾 13日 青年部総会 20日 理事会、M部会	関東支部活動・行事等 6/9～6/10 製品学科講習会(さいたま市) 6/16～6/17 超音波学科講習会(〃)	
千葉県	1日(木) 鉄球会、建築士事務所協会総会懇親会 5日(月) 中央会事務局責任者協会広報委員会 6日(火) JSCA千葉総会懇親会、南部支部インボイス制度講習会 8日(木) 千葉県溶接協会総会 9日(金) 非破壊研究会役員会、東部支部会 11日(日) 千葉県誕生150周年記念式典 14日(水) 建築士会総会懇親会 15日(木) 建産連総会 16日(金) 青年部ゴルフコンペ、総会 19日(月) 固形タブ検判定会 22日(木) 中央会総会 30日(金) 三役、支部長会、理事会 性能評価審査1社		
神奈川県	3日 RJNグレード部会総会、6日 鉄骨加工概論に係る工場見学、9日 鉄骨製作工場の性能評価事前研修会、9日 Mグレード部会総会、12日 マスクフィットテスト説明会、15日 事業運営委員会、17日 青年部会総会、21日 横浜市予算要望ヒアリング、22日 総務委員会・教育技術委員会・役員会		
茨城県	3～4日 UT実技講習会(2次試験) 7日 茨城県中小企業団体中央会総会 12日 水戸市長と語る会 23日 第2回理事会 24日 東関東非破壊検査研究会総会 27日 茨城県連連総会		
埼玉県	7日(水) 総務委員会 14日(水) 組合理事会、共済委員会 16日(土)～17日(日) 県東支部支部総会 19日(月) 青年部会役員会		25日(日)～26日(月) 県西支部総会 29日(木) 県南支部会、県北支部会 6月中 工場審査サポート4件
栃木県	6/8 定例理事会 6/16 青年部役員会 6/27 運営委員会、技術委員会、経営近代化委員会 ◎性能評価サポート 6/1、6/22、6/26、6/29		
群馬県	5/23青年部会通常総会、サポート実施(4社)		
長野県	2日(金) 現図講習会、3日(土)・4日(日) 構造物鉄工実技講習会、5日(月) 建産連総会、8日(木) 長野県Mグレード部会総会 9日(金) 青年部会総会、10日(金) 建築士事務所協会総会、20日(火) 50周年実行委員会、21日(水) 性能評価研修会、23日(金) とび実技講習会準備、24日(土)・25日(日) とび実技講習会、29日(木) とび実技検定準備、30日(金) とび実技検定		
山梨県	3日 山梨県溶接競技大会(一般・高校)、競技大会と同時に開催した展示体験会に12社・実演車4台参加 9日 理事会 10日 溶接JIS検定 青年部総会 15日 性能評価サポート(M1社) 20日 溶接安全委員会 安全パトロール(11社) 23日 青年部会		26日 経営近代化委員会 27日 教育技術委員会 若年人材育成教育 CAD(6～8日)、溶接実技(12～14日)、アーク溶接学科講習(15、16日)、コミュニケーション能力・プレゼンテーション(19日)、Excel講習(20、21日)、Word講習(23日)
新潟県	6/17、18 建築鉄骨超音波検査技術者学科講習会 6/7 理事会		

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
東京都	4～14	2～8	1～2	70～100		○				
千葉県	12.0	3～7	2.0	50～100		○				
神奈川県	6～14	2～8.2	3.0	50～100		○				
茨城県	6～12	4～6	2～4	80～100			○			
埼玉県	3～12	1.5～9	1～5	60～100		○				
栃木県	12～15	4～6	2～6	70～100		○				
群馬県	8～14	2～10	4～5	70～100			○			
長野県	7～13	2～9	5～6	80～105		○				
山梨県	6～12	0.7～13	2～3	70～115			○			
新潟県	10～14	4～6	3～4	80～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	鋼材等の価格、納期に大きな変化はないが、材料費、販管費の値上がり分の受注価格への反映が思わしくない。契約物件の工期ズレのほか、図面の承認遅れ等による工程ズレ対応に苦慮しているファブがある。なお、見積り件数は先ず先ずであるが、契約に結びつかないケースが多々ある。
千葉県	見積り物件数が少ない為、8月加工分件が薄い。建築鉄骨は工事量が少ない。物価高の煽りでS造の案件が減少したり変更になっている点について歯止めをかけていただきたい。
神奈川県	県内、県外からの製作支援の話が多くあり、原因のほとんどが図面決定の遅れに起因するものです。各社の山積みも高くなりつつある。耐震や改修の官公庁案件の見積り依頼も増えている感じはします。一次加工専門業者の山積みも高く、納期に時間がかかる。
茨城県	・地場案件が少ない。単価も、鋼材費の値上がり分以外、価格転嫁出来ない状況。 ・働き方改革の圧力が強いかなり難しい。
埼玉県	いまだチェックバックや図面承認の遅れは解消されなく、その原因が設計者やゼネコン側の能力不足も考えられる。そのため、回答を待っているのではなく、こちらから積極的に問題可決案を提示するや、VE提案するなど遅れさせないようにする組合員がいる。ただ、個々の企業では限界があるので、全構協が対策を講じてほしい。
栃木県	・客先都合で建方が延期となり、出荷が滞り、置場が大変なことになっている。 ・図面の決定承認が遅く、工程及び次物件に影響が出ている。 ・宇都宮LRTが8月26日に運行開始となります。
群馬県	ゼネコンの物決めが遅く、また追加・変更が多く工場加工が予定通りに進められない。さらに、中小案件が少ないため受注価格が乱高下気味である。
長野県	・先々の引合いがあるが、価格の改善は困難である。・H、BH材種にもよる。Hの大小にもよるのばらつきあり。参考になるのか疑問が残る。 ・来春以降の仕事は話はあるが、今年末～冬場が極端。少ない。・先1年間、山積みが高く、設計・加工ともに新規協力先に外注を検討中。未経験者ですが数名当業界に興味があり採用を進めている。
山梨県	2025年大阪・関西万博の「パビリオン「日本館」」の工事の入札が資材価格や人件費の高騰が原因で不調となるなど、ゼネコンは資材高騰分を見込まないと受けないとする姿勢は、価格転嫁しやすい環境とも言えるが、計画中止や延期にもつながり、工程計画にしろ寄せが来るのは下請け業者である。 建築分野での本格的な回復は2024年度以降という声もあり、2023年度の鉄骨鋼材消費見通しは430万トン前後と推測され、手持量・稼働率に関し、県内のMグレードは特に顕著であるが、Hグレードでも格差が広がる傾向にある。
新潟県	受注価格は若干の上昇がみられるが、鋼材の価格上昇分を十分に転嫁できず収益状況は厳しい。 関東圏の物件は堅調だが地元物件がなく、小規模工場では手持ち工事量に二極化が見られる。

＜北陸支部＞ 状況報告書

2023年（令和5年）6月分

(A)

提出日 令和5年7月5日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	3日(土) 青年部会・第42回通常総会 9日(金) 建産連・通常総会 12日(月) 中小企業団体中央会・情報連絡員会議 14日(水) 富山商工会議所・会員大会 15日(木) 建専協・全体会議 21日(水) 工場審査 (Rグレード)1社 22日(木) 中小企業青年中央会・通常総会、理事会 23日(金) 中小企業団体職員互助会・通常総会	9日(金) 全構協運営委員会 (WEB) 12日(月) 全構協共済推進担当者連絡会議 (WEB) 16日(金) 全鉄評第16回定時株主総会 (東京) 全構協第56回通常総会 (東京)
石川県	9日(金) 2023年度青年部通常総会 13日(火) 技術・品質サポート制度 14日(水) 技術・品質サポート制度 22日(木) 石川県建設産業連合会総会 24日(土) 建築鉄骨製品検査・超音波学科試験 26日(月) 令和5年度第一回担い手確保・育成等特別委員会	
福井県	2日 県中小企業団体中央会通常総会 8日 定例三役会・役員会 19日 総務委員会 21日 認定部会役員会・例会 22日 県建築業団体連合会理事監事会・総会 23日 企業説明会 (ポリテクセンタータイアップ事業) 青年部会例会 キックオフミーティング 29日 技術委員会	

(B)

都道府県	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	7～12	2～4	1～3	80～100		○				
石川県	8～12	3～4	1～2	80～120			○			
福井県	7～12	3～7	1～2	90～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	全グレードにおいて、見積の数、仕事量も先月とあまり変わらない。電気料金や輸送費等の値上がり分もある程度認められ、鉄骨価格は十分ではないが少しづつ上昇してきている。一方、図面承認の遅延が増々酷くなっており、特に上位グレードでは、工場が長期間空いたり、逆に残業を余儀なくされたり採算面で最も足を引っ張っている。ファブと関係者全体で解決策を、早急に考えなくてはならない。
石川県	上位グレードは前月に比べ仕事量も変化はない様子だが、中小物件が少ない分、多少仕事量が減っている企業もみられる。インフレの対応や人手不足もあり賃上げを実施している企業もあるが、人手不足は慢性化している様子。資材高騰による延期や中止、鋼材納期の長期化などの外的要因において仕事量が左右されそうで不安との声もある。電気料や副材料費などの値上げにおいても価格転嫁の交渉努力はしているが現状まだまだ十分ではない様子。
福井県	・前月に比べ各グレード共に山積み量に大きな変化は見られない。 ・新年度物件として公共建築物の耐震補強が若干出始めている。M以上指定でありながらその規模は小さい。 ・新幹線延伸に伴う駅前周辺部の工事は、材料高騰等の影響を受けて工期延期のみならず利用目的まで変更されるなど、一部に無理な開発に伴う混乱が生じている。我々はこのような混乱に巻き込まれぬように相互の情報交換に務めたい。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年) 6月分

(A)

提出日 2023年(令和5年) 7月 4日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	21 日 (水)	理事会	6 日 (火)	} 建築鉄骨製品・超音波 検査技術者 学科講習会
静岡県	23 日 (金) 28 日 (水)	三役会 役員会	7 日 (水)	
愛知県	6 日 (火) 11 日 (日) 12 日 (月) 13 日 (火) 24 日 (土)	青年部会 名古屋北支部ゴルフ会 中央会:総会 出席 正副理事長会・理事会・理事長選出ルール策定委員会 青年部:総会	9 日 (金) 12 日 (月)	全構協:運営委員会 出席 全構協:共済推進担当者 連絡会議 出席
三重県	2 日 (金) 20 日 (火) 21 日 (水) 22 日 (水)	青年部総会 第3回理事会 工場審査サポート 工場審査サポート	16 日 (金) 30 日 (金)	全構協:三役会・理事会・総会 出席 全鉄評:株主総会 出席 青年部 中部BC総会

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	5~12	3~8	1~6	50 ~ 120		○				
静岡県	8~14	2~8	1~3	70 ~ 120			○			
愛知県	10~12	4~8	2~4	80 ~ 120		○				
三重県	9~11	3~9	1~5	90 ~ 110		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・工程のズレによるしわ寄せがこれから来そうだ。 ・指示通り進めていた所、簡単に変更・修正で振り回され大変。 ・年内はほぼ一杯の状態です。
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対物件数が少ないため加工費の上乗せが進まず、賃金アップもままならない状況です。 ・未だエネルギー関係や人件費等の物価上昇に理解が薄いお客様が多い状況。来年再来年案件の話がきているが、材料費等の値段がグレーのため、高めの見積となり決定まで時間がかかっている。物価上昇が馴染むことで落ち着くと考える。 ・鋼材の価格転嫁は十分にできるようになり、なおかつ加工単価も上昇。特に難易度の高い物件は言い値で受注できるようになった。 ・鋼材費等が高値安定と推移していますが、全体の価格が上がり加工費を維持していきたいと願っております。 ・県外の受注物件を中心に6月~10月までは稼働率が100~110%の見通しです。鉄骨受注価格は変わりません。材料価格は落ち着いており今後3か月程度は現状価格で推移するものと見ています。なお、ボルトは秋口にかけて値上げ予想です。
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・見積依頼が若干少なくなった感じはしますが、一時的なもののような気がします。 ・鋼材価格の上昇に伴い加工賃を下げる要求がありますが、できるだけ抵抗するように心掛けています。 ・小規模物件の見積もりが少ないので、出件すると安値が出て受注は難しい。 ・地場ゼネコンが安値を探して直前まで契約しない。 ・鋼材商社が入っている客先とそうでない客先とでは明らかに価格の差があるので、安い物件で無理に埋めないようにしています。 ・見積もりがここ最近多くなったが、ほとんどが同じ加工時期になっている。 ・鋼材単価は高止まりの状態となっている。 ・まだまだ中小物件は少なく、さらには価格競争が熾烈化してきている。
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼材単価は上げ止まりの状況であるが、加工単価は全く変化が無い。 ・消耗費(電気代等)は高騰しているため、営業状況は決して良くない。 ・2024年問題によって、各ファブが仕事量を調整していく上で、現況の仕事量の二極化も多少回復され、加工単価も上昇するのではと期待している。 ・予定工事の工期ずれが発生し、仕事量にむらがある。

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年6月分)

(A)

提出日 令和5年7月4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・6/14 性能評価申請説明会 1社 ・6/14 理事会、認定工場部会、賛助会員様プレゼンテーション3社	≪講習会≫ ・建築鉄骨検査技術者 学科講習会 製品検査 : 6/5 ~ 6/6 超音波検査 : 6/7 ~ 6/8 (大阪トヨペットビル) ≪近畿支部会≫ ・第1回 近畿支部会 日時:6月13日(火) 14:00~16:10 場所:神戸国際会館 805号 ・令和4年度 監査 日時:6月13日(火) 12:30~13:30 場所:兵庫県鉄工建設業協同組合
京都府	・6/7 認定サポート2社 ・6/14 認定サポート2社	
大阪府	・6/7第1回技術委員会 ・6/8第1回運営共済事業委員会 ・6/8~6/10UT1次試験対策講習会 ・6/14南支部会 ・6/21第1回定例理事会 ・6/29北支部会 ・6/28/30工場サポート	
兵庫県	・6/9 教育技術委員会 ・6/16 運営委員会 ・サポート 1件	
奈良県	・6/20 三役会 ・6/23 青年部実演体験会、定例会	
和歌山県	・6/29 和歌山県知事へ陳情(鉄骨工事発注、鋼材高騰対応等)	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	10 ~ 16	2 ~ 8	1 ~ 4	80 ~ 100		○				
京都府	3 ~ 12	5 ~ 12	1 ~ 4	70 ~ 125		○				
大阪府	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	40 ~ 100			○			
兵庫県	7 ~ 14	3 ~ 7	1 ~ 3	70 ~ 100		○				
奈良県	~	5 ~ 9	1 ~ 3	80 ~ 100		○				
和歌山県	5 ~ 12	2 ~ 5	1 ~ 3	60 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	今秋から来年物件の見積もり案件は増加している。主にHグレード案件が殆どの為、小規模物件の増加実感は湧いていない。足元の加工も山谷がハッキリしておりスポットの空きが発生している。ただ秋以降の加工は繁忙すると考えられる。鋼材は高値安定は続く。鋼材費以外の部分の加工費への転嫁は目に見える形では難しく、見積もり時に法定福利費項目を設けているように「別計上項目」として挙げる必要があると考える。加工費部分の価格転嫁の癖付けが必要で素早く全国的な統一感を以て号令を掛けるべきと考える。
京都府	中小物件は少なく大型物件が多い気がする。PC柱に梁がS造といわれるハイブリッド工法も多いです。公共工事、民間共に引き合いが少なく見通しは悪い。予算取りや計画の見積りはあるが工事実施には至らず。2~3ヶ月先の工事の話は有るがその後の動きが心配。秋過ぎ迄は仕事は有るが全体的に中小物件が少なく安値受注するファブが見受けられる。見積物件数に比べ決定数が少ない。決まり値が低い。利益率が悪くこのままでもいいのかと悩んでいる。
大阪府	物価の上昇が止まらず、関西ペイントのペンキなどは7月より1缶当たり1,000円アップするとか。半年から1年先の仕事量の山積みについても、ファブごとにばらつきがあり、確保の状況としては不安定である。加工費についても賃上げの上昇幅についていけない。従業員への賃金や賞与などは上げざるを得ない状況で、今後の収支バランスを保つことが課題である。Mグレードでは来年度施工の見積が増加し、Rグレードは少ない状況。H鋼・鋼板の手配はスムーズである。
兵庫県	各社、山積みは年内埋まっている様ですが少しすくなく、来年以降は万博関連の受注があるため忙しくなりそうです。先々は案件があるため受注量はあまり心配していませんが価格転嫁の交渉に時間を割いている状況です。また図面の遅延が深刻な状況で工場山積み調整が不安定になっています。組立工及び溶接工の不足で苦勞していると事で人材流出を防ぎ、雇用関係で年間休日の見直し、ホームページ等職場環境の改善に努められているファブもあります。鋼材市況は電炉メーカーが鋼板、鉄筋の値下げがありましたが、条鋼類は据え置きで価格については横ばい状態が少し弱い状況かと思えます。
奈良県	・大阪万博ならびにIRを控え、関西地区全般の仕事量が増える事を期待しています。 ・一部、材料が入り手難しく聞きますが、Mグレードファブでは、それほど問題が無いと感じます。 ・鋼材価格が、高値のまま推移している。また、物件の見積もりも少なくなっている様に思えます。
和歌山県	今月も見積物件が少なく、秋以降の物件が少なくなると不安です。また鋼材価格は、高止まりですが、最近の円安で、物価が高騰してくるのではないかと心配です。工場稼働では、都市再開発、物流倉庫棟の大型物件に関わっている工場は忙しく、地元物件に関わっている工場は、少し隙ができてきているように思われます。こんな時ですが、物価高騰分を加工費に上乗せできるよう、努力が必要だと考えます。

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年)6月分

(A) 提出日 2023年(令和5年) 7月5日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況		
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等		
鳥取県	13日(火)	東部支部例会	2日 第1回中国支部会 9日 全構協運営委員会 12日 共済推進担当者連絡会議(zoom) 16日 全構協:第2回理事会 16日 全鉄評 第16回定時株主総会 16日 全構協:第56回通常総会		
	16日(金)	西部支部総会			
	19日(月)	工場審査サポート 1社			
島根県	6日(火)	工場審査サポート(1社)			
	26日(月)	青年部会 役員会(1社)			
岡山県	10日(土)	青年部会(岡山市)			
	14日(水)	第2回理事会(岡山市)			
	15日(木)	岡山県南部高等技術専門学校 総会			
	26日(月)	大日本塗料協議(キャンペーンについて)			
広島県	1日(木)	建築学会中国支部鉄骨製作部会(リモート)			
	7日(水)	JSCA中国支部総会・技術発表会			
	9日(金)	青年部 総会			
	20日(火)	県中小企業団体中央会 総会			
	27日(火)	三役会・理事会			
	30日(金)	工場審査サポート 1社			
山口県	8日(木)	第2回理事会			
	20日(火)	山口県中小企業団体中央会通常総会			
	26日(月)	工場審査サポート1社			

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	4 ~ 16	2.5 ~ 5	2 ~ 3	80 ~ 120		○				
島根県	6 ~ 7	3 ~ 6	1 ~ 2	60 ~ 100			○			
岡山県	12 ~ 21	4 ~ 6	2 ~ 10	80 ~ 100			○			
広島県	8 ~ 12	3 ~ 14	1 ~ 9	70 ~ 120		○				
山口県	4 ~ 8	2 ~ 6	2 ~ 3	80 ~ 110		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	地元民間案件の新築・増築などの設計見積物件が先月と比べて徐々に増えて来ているようだ、今後近いうちに発注される状況が推測されると共に繁忙状況が、今年の後半に向けて続く予測の報告も受けている。現状のところ各社とも手持ち工事量は持っており、価格交渉も強含みで推移する予感がしてきた。組合員同士の安価な指値受注は控えて、少しでも多くの適正価格物件につなげる粘り強い努力と協力をしながら、業界の明るい未来を目指している模様である。
島根県	Hグレードは、年内の仕事量は確保出来ており、来春以降の物件についても引合い・見積り依頼が順次来ています。Mグレードにおいても、年内の仕事量は確保出来ておりますが、来年の工事見積りについては、少ないと回答する企業が多い模様です。Rグレード以下の下位グレードでは、夏場までの仕事量は確保出来ているものの、全般的に見積物件数は少なく先行きは不透明な状況です。
岡山県	岡山県に於いて6月は年度内工事の公共案件の発注時期であるが、本年度については発注量が各段に少ない。昨年頃から続く県内案件の枯渇に拍車がかかる状況が予想され、年末、年度末が心配な状況である。その様な中、資材、副資材価格の高騰は鉄工所にとって致命的な状況になりつつある。この点県組合として、全構協としてしっかり対応すべきと考え、妙案が無いのも事実である。せめて共済対象商品については気遣いが欲しい所であるが、メーカーの能天気な対応に腹立たしく思っているところである。
広島県	今月も、稼働率100%以上の回答企業が70%を占め、高い稼働率を継続している。 手持ち工事量では、Hグレードはほぼ1年超、Mグレードの半数が6か月以上の仕事量を確保する一方、Rグレードを中心に4か月以下が全体の60%を上回る状況となっており、中小物件の伸び悩みによりグレード間格差は解消されず、むしろ拡大が懸念される。 見積りについては、「多い」と「普通」が65%を占め、やや回復の兆しを感じる。 鋼材価格は高止まりのまま、副資材、電気、輸送費など多くの製造原価が上昇を続け、各社とも原価見直しと見積もりへの反映に注力するが、価格転嫁に苦しみ、利益を圧迫する状況が続いている。 また、見積り件数はあるものの、なかなか決定に至らない状況や、長期の受注案件を確保しながら、製造原価の変動を不安視する声も複数上がっており各社とも、仕事量に見合う利益確保が、今後に向けた大きな課題となっている。
山口県	Hグレードは、納期に追われる状況に変わりが無いが、稼働率、見積り件数ともに若干落ち着いている状態。春先から物件が少なくなりつつあるような感じを受けている。今後懸念されるトラック輸送の諸問題についても今から対策を検討したい。M・Rグレードは、現状100%に近い稼働率だが小規模工事が多く、工場内作業よりも現場が多いと話すファブもいる。地域によって工事量、見積り件数に差が生じている。同業者との仕事のシェアが増えており、情報を共有して連携を図ることが必要不可欠だと感じる。来月から消耗品・光熱費・ガス価格等の更なる価格高騰を強いられ、鋼材価格も据え置き状態で加工単価が厳しい。業界を挙げて適正価格を取引先に向けて陳情する必要があると思う。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年)6月分

(A)

提出日 令和5年7月5日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	6日(火)13日(火)工場審査 16日(金)青年部総会 20日(火)情報交換会 6日(火)22日(木)23日(金)建築鉄骨検査技術者講習会 15日(木)16日(金)AW検定実技練習 24日(土)25日(日)鉄工技能検定対策実習	◇四国支部会 日時:6月29日(木) 場所:愛媛県四国中央市ホテルグランフォーレ 議事 (1)全構協理事会報告 (2)全構協各委員会報告 1)運営委員会 2)技術委員会3)共済 (3)支部2023年度交流会等スケジュール 1)今年度四国支部交流会議開催について 2)次世代経営研修開催について (4)各県状況見通し <div style="text-align: right;">以上</div>
香川県	13日(火)組合員工場審査サポート 28日(水)第2回理事会	
愛媛県	9日(金)工場審査 10日(土)青年部会総会	
高知県	20日(火)理事会	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	6 ~ 8	3 ~ 4	1 ~ 4	80 ~ 120			○			
香川県	4 ~ 8	2 ~ 4	~	90 ~ 110			○			
愛媛県	6 ~ 12	2 ~ 5	1 ~ 4	90 ~ 120			○			
高知県	5 ~	2 ~ 6	1 ~ 2	80 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	Hグレードは6~8か月の仕事量を持っているが、それ以外では、多くて4か月程度、一部に地場物件が見られるが全体として中小物件は少なく、低価格と運搬費の値上げで苦しい状況が続いている。厳しい夏を迎え、暑さ対策、残業せずに納期を守る工夫、工場稼働率の低下に注意するなどの取組が見られる。
香川県	設計・ゼネコン共に見積件数は依然として少ない。しかし、県内物件は少ないものの県外物件を協力して加工しており稼働率は一定程度維持している。但し、秋以降は不透明な状況。
愛媛県	地場中小物件をメインとするFABでも今現在の操業度は90~100%であるが、受注残となると1ヶ月~と山積は少ない。結局、3か月後の受注は決まっていないが、2か月前になると急に地場ゼネコンから引合いが来る。仕事量を平準化できず、また、残業・土日操業で従業員にしわ寄せも起こる。これでは中小FABでは人材確保に人材定着はなかなか進まない。
高知県	見積件数は一部のFABを除いて少ない。稼働率は他社、他県よりの仕事で一定量はある上位協が続いている。今後の仕事量は不安なFABがおおい。

＜ 九州支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年度(令和5年度) 6月分

(A)

提出日 令和 5年 7月 4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・6/12 令和5年度 第1回福岡県建築鉄骨協議会 ・6/15～29(5日間) 品質向上/パトロール(対象7工場) ・6/23 福岡県青年部会通常総会	・6/5～6 全構協九州支部主催 建築鉄骨超音波検査技術者学科講習会 於:福岡市 ・6/7～8 全構協九州支部主催 建築鉄骨製品検査技術者学科講習会 於:福岡市 ・6/13 第2回支部会理事会、通常総会 ・6/19 第3回九州支部事務局Web会議 ・6/19 全青会九州ブロック会 第2回役員会、通常総会(WEB) ・6/28 全構協九州支部H部会 工場見学及び通常総会 於:佐賀市
佐賀県	6/2・6・15・16・27・28・30 審査サポート 6/9 建産連理事会総会出席 青年部総会懇親会 6/28 九州支部H部会 総会懇親会出席 6/30 佐賀支部総会懇親会	
長崎県	6/6 長崎県建築鉄骨研究会総会出席 , 6/15 工場サポート(1工場) , 6/20・21検査・技術委員会Web勉強会 , 6/29 長崎県建築鉄骨研究会第1回専門委員会・作業部会出席 , 建産連総会出席	
熊本県	6/3 青年部会総会 6/5、9 認定サポート部会 6/27 理事会 6/29 鉄骨問題協議会	
大分県	6/6, 6/16, 6/22工場審査事前打合わせ(M2社、H1社)、6/20三役会、理事会、認定部会(対面・WEB併用)、6/30SDGs、DXの入口講習会(講師:足立副理事長)	
宮崎県	6/2 建築士事務所協会総会出席 6/9 鉄工技能士1級学科講習会開催 6/12 中央会事務局連絡協議会役員会出席 6/20 労働基準協会総会出席 6/22 青年部会第2回幹事会開催	
鹿児島県	6/10青年部会役員会 6/30理事会	
沖縄県	・6/6:理事会、8日:建設産業合同企業説明会、8日:溶接協会総会・懇親会、9日:建築懇親会(建築士会・事務所協会)、30日:建産連役員会・総会懇親会	

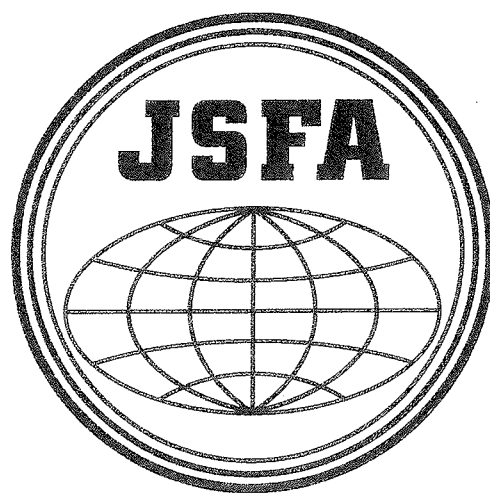
(B)

都道府県	①手持工事量(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	5 ~ 12	3 ~ 6	1 ~ 2	80~100			○			
佐賀県	6	1 ~ 8	1 ~ 4	60~100		○				
長崎県	6 ~ 16	4 ~ 10	—	70~100		○				
熊本県	5 ~ 8	3 ~ 7	2	95.8		○				
大分県	5 ~ 17	3 ~ 5	—	90~100		○				
宮崎県	5 ~ 12	2 ~ 3	0.3 ~ 3	20 ~ 100			○			
鹿児島県	7~12	1~8	1~2	70~100			○			
沖縄県	1 ~ 2	1 ~ 2	1 ~ 2	80~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・ 大型物件等の仕事量はあるものの、図面承認の遅れによる影響が課題(前回同様)
佐賀県	・ 中小案件が少なく先行きが不透明。工事量に企業間の格差が出ている。 ・ アウトサイダーの動きにより、価格が下がった物件が見受けられる。
長崎県	・ 見積り件数が増加傾向。鋼材価格は上り傾向。 商社物件が増えてきている。 ・ 大型物件の見積りや引合物件が出てきた。 50トン～300トン物件は少ない。 ・ 各社の山積みは上昇気味。
熊本県	商社の動きが顕著になっている。 見積物件が増えて来た。公共工事が少ない。 図面の承認が遅いので、予定より作図工程が遅くなり工場の工程がうまく流れない。現場労務の手配が難しくなっている。
大分県	◎副資材、燃料費等の高騰や賃上げなどの価格転嫁が課題。◎200トン以下の一般見積が少ない。◎年間休日が100日を大きく超える会社が多く、社会情勢への対応が急務と感じる。◎設計図が悪く変更が多い。GCが鉄骨を分かっているないので教育が必要。
宮崎県	大型物件の需要はあるものの、中小規模の物件が少なく全体を通して稼働率が下がっている状況。 見積りも少なく、秋以降の動向が不透明。
鹿児島県	見積りが少ない。なかなか手頃な物件がなく、小仕事のみで明け暮れている。図面チェックに時間が掛かり足かせとなっている。
沖縄県	・ 中小物件の引き合いが増えてきた。また概算見積りも多くなっている。建築確認遅れが工場稼働率に大きく影響している。金物工事などで仕事量を確保している。

創立 50 周年 記念式典及び祝賀会



令和 5 年 7 月 12 日 (水)

品川プリンスホテル

一般社団法人 全国鐵構工業協会

式典・祝賀会次第

創立 50 周年記念式典

日時：令和 5 年 7 月 12 日（水） 14:00～15:00

会場：品川プリンスホテル アネックスタワー 5階 プリンスホール

1. 開会の辞 副会長 大島 嗣雄
2. 会長挨拶 会長 永井 毅
3. 来賓紹介
4. 来賓祝辞
5. 感謝状贈呈
6. 閉会の辞 副会長 大竹 良明

創立 50 周年記念祝賀会

日時：令和 5 年 7 月 12 日（水） 15:30～17:00

会場：品川プリンスホテル アネックスタワー 5階 プリンスホール

1. 開会の辞 創立 50 周年記念事業準備委員会 委員長 山本 泰徳
2. 会長挨拶 会長 永井 毅
3. 来賓祝辞
4. 来賓紹介
5. 鏡開き
6. 乾杯
7. 閉会の辞 創立 50 周年記念事業準備委員会 委員 玉木 信介

50周年記念感謝状贈呈者 <敬称略>

1. 学識経験者・有識者

田中淳夫	松橋小中多青倉早横	井本野込賀野持坂田	千篤徹忠謙弘和	秋秀郎男蔵毅貢美伸	高森甲辻山犬嶋堀	梨田津岡田伏川	晃耕功静丈昭徹勝	一次夫雄富昭徹勝	青橋田河田加賀立護	木本渕野中賀美川	博健基昭安克雅	文一嗣彦剛男美典
------	-----------	-----------	---------	-----------	----------	---------	----------	----------	-----------	----------	---------	----------

2. 正会員関係者

北海道 高田泰久	青森 村岡寿一	岩手 小山田周右
宮城 館林利雄	秋田 藤澤正義	山形 村山功
福島 渡辺勝	茨城 寺門均	栃木 五月女久和
群馬 小池敏郎	埼玉 伊藤敏彦	千葉 小林正和
東京 吉岡晋吾	神奈川 岸部直喜	新潟 長谷川恵慈
山梨 櫻本進	長野 飯島正博	富山 齋藤博章
石川 丸田克	福井 松ヶ谷恒夫	岐阜 岩井信介
静岡 松尾浩亘	愛知 大島嗣雄	三重 玉木大二郎
滋賀 大井豊司	京都 伊藤佳治	大阪 岡田忠治
兵庫 緒方義則	奈良 針田勉	和歌山 北村了二
鳥取 福田秀章	島根 高橋伸和	岡山 甲矢範一
広島 山本泰徳	山口 岡田直矢	徳島 岡本耕一作
香川 多田弘志	愛媛 登尾昌弘	高知 前田兼一
福岡 野田博文	佐賀 陣内柔剛	長崎 相良昌利
熊本 角毅四郎	大分 足立高浩	宮崎 鴨林昌利
鹿児島 相良忠志	沖縄 玉城道好	

3. 特別推薦

全構協 米森昭夫